

基本方針 5 大阪府立図書館は、府民に開かれた図書館として、府民とともにあゆみます。

重点目標 5-1	図書館が持つ資料や施設を活用し、府民の生涯学習活動を支援するとともに、地域の魅力づくりに貢献します。			
評価 (25年度)		【評価の理由】 中央図書館では施設管理費のコスト削減のために ESCO 事業を導入（27 年度）することで、約 40%の光熱水費の削減の見通しを立てるとともに、駐車場、会議室・ホールの利用促進のために指定管理者制度の導入の方向性を示すことができた。 また、生涯学習事業については、引き続き外部機関との連携を継続でき、施設を活用した府民の生涯学習活動を支援する機会の増加に寄与している。 中之島図書館では、耐震補強工事のため、臨時休館やスペースの減少、騒音の発生等、厳しい制約の下でサービスを行いつつ、「大阪府立中之島図書館のあり方検討タスクフォース」において現状の評価やあり方の検討を行った。その検討結果を踏まえ、国指定の重要文化財である建物、開館以来 110 年間に蓄積した蔵書や培ってきたノウハウなど特徴を最大限に活かしつつ、27 年度を目途に新しいタイプの図書館にリニューアルし、利用者サービスの向上を図る。		
重点指標	24 年度末 実績	目標	25 年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
利用者満足度	96.2%	毎年 95%	94.5%	
イベント参加者数	5,229 人	毎年 5,300 人	5,424 人	
新規連携先数	－	毎年 3 件	4件	
【アクション・プラン】				
	取組み		達成状況	
平成 25 年 度	(1) 会議室・ホール等の図書館施設の利用実態の把握と分析 (2) 効率的な施設管理のあり方について検討 (3) 外部機関との連携強化		(1) 駐車場利用アンケートの実施  (2) 施設管理部門等における指定管理者制度導入のために条例案の作成  (3) 歴史街道推進協議会、百舌鳥・古市古墳群世界文化遺産登録推進本部会議、近畿大学文芸学部、江之子島文化芸術創造センターと連携・協力	
平成 26 年 度	(1) 施設管理部門等における指定管理者制度の導入に向けた事業内容の検討(中央) (2) ESCO (Energy Service Company) 事業の契約締結(中央) (3) 外部機関連携の継続(中央) (4) 図書館としての魅力や利便性・快適性の向上(中之島) (5) 所蔵資料の活用方策の検討(中之島)			
平成 27 年 度				

## 【アクション・プランのねらい】(25 年度当初に記入)

- ・有料の貸出スペースであるホールや会議室の利用実態、およびより効率的な管理手法を分析するとともに、魅力ある施設づくりを検討。
- ・企画展示エリア、展示コーナー、エントランスギャラリーについては、図書館企画事業の年間テーマ（平成 24～25 年度）「ネットワークを広げる」のもとに、外部機関との連携を強化し、利用促進につなげる。
- ・図書館のもつ資料と施設を活用して、府民の生涯学習を支援するとともに、外部機関の協力を得ながら、地域の魅力づくりにつながる情報を発信する。